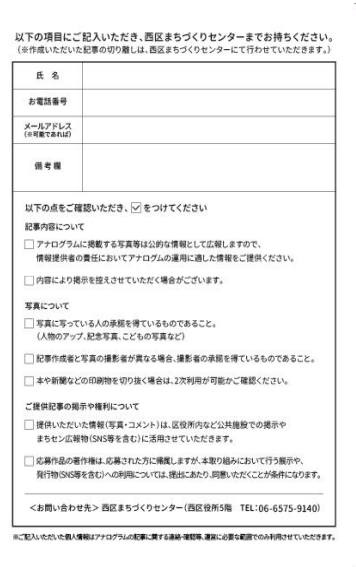


4 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策(取組)の状況及び効果等

支援策(取組)名称	事業者選定時における 企画提案(事業計画書)の概要	支援状況(実績)及び効果	左記の状況及び効果を踏まえた課題分析と今後の改善策等 【凡例】○:課題分析 ●:今後の改善策等
すべての支援と 連動した 『見える化』の推進	■地域カルテの活用推進 ・すべての支援と連動した『見える化』の推進 ・地域の様々なデータ(人口動態、経済状況等)と支援方針をまとめた「地域カルテ」をブラッシュアップ ・地域が取り組むべき課題、支援策を含む官民協働のあり方の整理 ・地域との共有の際には、ファシリテーション手法等を用いた、連携協働、ネットワークづくり、活動推進等の支援を行い新たな活動展開へと繋げる 〈区レベルの支援方針の視点〉 ①新規住民とのコミュニティ形成 ②旧住民とのコミュニティ強化 ③地域課題解決に向けた既活動の強化 ④開かれた組織運営の継承を指標	＜支援実績＞ ◇区役所と連携・協働し、地域の現状分析と今後の支援方針を整理した「地域カルテ」の策定 ◇「地域カルテ」の地域・区役所(まちづくりセンター)の共有 ◇地域が描く将来像「仮」地域将来ビジョン策定や地域活動協議会等支援メニューとのマッチングによる協働まちづくりに向けた推進支援 ＜効果＞ ◆基礎データの整理と地域課題、地域活動協議会支援メニュー等を整理した「地域カルテ(基本データ)」を作成 …地域カルテ(基本データ)の分析を踏まえ支援テーマ(マンション対策や防災活動の推進等)を設定 ◆年度活動支援の現況整理と合わせて地域課題や支援方針を整理し、あわせて地域カルテへのとして整理している。 ◆地域カルテは作成段階から区役所、まちづくりセンターにて共有している。地域との情報共有には至っていない。 ◆地域課題をふまえた将来ビジョン(素案)に基づき支援方針の検討を行っている。地域との将来ビジョンの検討や共有には至っていない。 ◆一部地域では、まち歩きが実施されている。(江戸堀)	○区内各地域の基礎データ・地域課題の整理・分析により、重点的な支援テーマ(3～4テーマ程度)として絞り込まれつつある。 …マンションコミュニティとのつながりづくり、既存コミュニティの強化・再構築、防災まちづくり、地域活動自律化 など ●今後は、区役所と地域が共有する情報として地域カルテの内容拡充(地域・住民目線による地域課題、将来ビジョンなど)と、地域活動協議会(構成員)をはじめとした様々な市民・活動主体を含む共有化プロセスの構築が必要である。 ●将来ビジョン的な発想については、地域ごとにそのとらえ方が異なり、地域カルテの共有・活用プロセスの推進方法の詳細な検討が必要である。
多彩なテーマの 勉強会の開催 (まちづくりセンター 主催)	■多彩なテーマの勉強会の開催 ・地域課題に対応した多彩なテーマの勉強会・講演会等の開催 ・各地域間の課題や取り組みについての意見交換 ・他地域の先行事例を学び同じ悩みを持つ地域間の情報共有と連携を図る ・ネットワーク拡大へとつなげるとともに新たな支援の検討 ・参加者は、地域活動協議会の委員に限らず、地縁団体や区内で活動している団体、マンション住民や組合、企業などテーマにより呼びかけを行う	＜支援実績＞ ◇地域ニーズを踏まえた勉強会・意見交換会を開催 ・感染対策の観点から、勉強会資料を配布 ・各地域別の意見交換会等を開催 ・開催テーマ(案) ①身近な地域紹介実施に向けたアナログラムの導入 ②感染症対策下の地域活動の運営 ③新しい生活様式での防災 ③新規事業計画に向けて	○新型コロナウイルス感染防止のため、当初計画していた会議形式の勉強会開催が難しい状況である。 ●視察方式の場合、視察先の選択の減少や体制の調整等が感染症の影響により、困難である。 ・意見交換の場を設ける場合、ワークショップなどの共同作業が難しく、また3密の回避や飛沫感染の対策が難しい実状がある。 ●新しい生活様式・withコロナに対応した勉強会のしくみ検討が必要である。 ●地域の垣根を超えた意見交換を行うために、オンライン会議を活用して実施していく必要があるが、各地域の環境整理とこれらツールの習得が課題である。 ●新しい生活様式・withコロナに備えた地域ニーズを整理し、適切な情報提供を進める必要がある。
マンションコミュニティ を核とした地域との よりよい関係形成 支援	■マンションコミュニティとの関係形成支援 ・西区住民の9割がマンション居住者 ・近年も増加の傾向にあり、地域に与える影響は大きい ・地域とマンションの関係形成は重要な課題 ・マンション管理組合や管理会社への積極的アプローチの推進	＜支援実績＞ ◇マンション入居者をはじめとした西区住民(転入者)への広報として、まちづくりセンター広報を活用した地域情報発信 ・まちセンだより・広報パネル ・区役所 魅力発信コーナー/地域広報紙ブースの設置 ・アナログラムの運用 ・フェイスブック・インスタグラムの運営 ◇防災等の共通の活動テーマをキッカケにした管理組合等との活動協働の推進支援	○西区内居住者の大部分を占めるマンションコミュニティとの関係構築は、西区の地域活動における共通の課題であるが、一方でマンションコミュニティからの参画意識はまだまだ希薄な状況にあるようである。 ○さらに、新型コロナウイルス感染防止に伴う対面活動が自粛されており、接触機会を設ける事ができていない。 ●マンションコミュニティと地域活動において共通するニーズをキッカケに相互連携のコーディネートをすすめるため、ニーズの分析と当事者との共有のしくみの構築が必要となる。 ●昨年度より、防災をキーワードにした取組を推進しており、防災対策の連携に向けた地域防災活動への参加促進や協働した防災活動の推進が必要である。 ●さらに、新しい生活様式・withコロナにおける連携のしくみの検討が必要である。
まちづくりセンター と 地域の協働による 広報活動	■まちづくりセンターと地域の協働による広報活動 ・今まで繋がり薄かった若い世代、新規住民、地域団体、企業等へ地域活動協議会や地縁団体活動を周知 ・幅広くまちづくりセンターの活用を促す ・地域課題に基づいた広報テーマの設定 ・地域でアピールしたいことなど分かりやすく広報する	＜支援実績＞ ◇まちづくりセンターによる広報 ・まちセンだより(広報紙)作成・配布 ・広報パネル作成 ・魅力発信コーナー/地域広報紙ブースのリニューアル ・フェイスブック・インスタグラムの更新 ・西区広報紙「かぜ」への地域活動協議会情報の提供 ◇「アナログラム」の開設・運営 ・新しい地域広報のプラットフォーム ・日頃の地域情報を気軽に情報発信 ○地域広報のサポート ・地域広報の作成・発行・周知・活用等の支援 ・担当者等との意見交換をふまえた指導・助言等	○SNSなどの利用者が拡大する中で、地域情報についても電子媒体を活用した広報の必要性が高まっている。一方で、各地域情報の広報は印刷物の掲示・配布が中心である。 ○また、防災対策や高齢対策、こどもの安全・健全育成など、地域活動に求められるニーズは多岐にわたることから、新しい居住者・担い手への情報発信には、より幅広い内容をより幅広く伝える必要がある。 ●SNS等の地域広報への活用に向けて、だれもがかかりやすい新しい広報手段として「アナログラム」の運営をまちづくりセンターにて開始した。今後は、アナログラムへの感心を高めるとともに、幅広い市民に情報提供(投稿)いただけるよう、しくみの周知・広報や運用の工夫を重ねる必要がある。



△西区広報紙「かぜ」に地域活動協議会の紹介記事

△西区役所1階 地域魅力発信コーナー設置・「アナログラム」設置

△まちセンだより(最新版)

△アナログラムの運営:身近な情報を写真と一言コメントで伝える